

【Basic II】

筆記試験 <聴音> 例題集

- 聴音は、アンサンブル・スタイルの楽曲（1～2分程度のミュージックデータ）を聴き、(1)リズム (2)メロディー (3)コードの3点を聴き取るものです。楽曲はメロディー（楽器音による演奏）、リズム（ドラム）と、複数の伴奏楽器から成るバンドのスタイルです。  
（なお、音源の実例および正解例は略します。）

<問題例>

The musical score is written in F major (one flat) and 4/4 time. It consists of six staves of music, each with a measure number and chord symbols above it. Empty boxes are provided for identifying the chords in measures 4, 6, 8, 10, 12, and 16.

- Staff 1: Measure 1 (Fmaj7), Measure 2 (C7), Measure 3 (Fmaj7), Measure 4 ( )
- Staff 2: Measure 5 (Gm7), Measure 6 ( ), Measure 7 (F), Measure 8 ( )
- Staff 3: Measure 9 ( ), Measure 10 (Eb7), Measure 11 ( ), Measure 12 (D7)
- Staff 4: Measure 13 ( ), Measure 14 (C7), Measure 15 (F)
- Staff 5: Measure 17 (Am7), Measure 18 ( ), Measure 19 ( ), Measure 20 (C7)
- Staff 6: Measure 21 (F), Measure 22 (D♭maj7), Measure 23 (Eb7), Measure 24 (Fmaj7)

問題1 下のa～cのうち、21～24小節のリズム・パートと同じものを選び、記号を○で囲みなさい。

a

b

c

(ドラム記譜に関して)

1. バス・ドラム
2. スネア・ドラム
3. ハイ・タム
4. ミドル・タム
5. ロー・タム
6. クローズド・ハイハット
7. オープン・ハイハット
8. クラッシュ・シンバル
9. ライド・シンバル
10. リム・ショット

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

- リズム聴音では、曲の該当部分（4小節）のみ、リズム・パートのみで3回再生されるので、一致する楽譜を選択します。ドラム記譜についての譜例を参考に、
  - ・バス・ドラムおよびスネア・ドラムのパターン
  - ・ライド・シンバルとハイハットの区別
  - ・クラッシュ・シンバル（アクセント）の入れ場所
 等に注意して、慎重に選びましょう。

問題2. にふさわしいコード・ネームを書き入れなさい。

- コード聴音は、メロディーをミュート（消音）した状態で、曲の全体が4回再生されるので、空欄のコードを聴き取って記入します。コード聴音では、ベース（原則的にはコードのルートに相当）を聴き取ること、コードの種別（メジャーとマイナー、7th, major7th等）を聴き分けることが基本になります。各種のコードの響きを耳で判別する力が必要ですが、さらにはコード進行の知識に基づいて、前後のコードからある程度該当コードを予測することも、有益な場合があります。

問題3. 9～16小節の（ ）にメロディーを書き入れ、楽譜を完成させなさい。

- 空白部分のメロディーを聴き取ります。該当部分のみが6回再生されるので、落ち着いて聴き取りましょう。小さな単位に分けて（2小節ずつ等）書き取っていく方法、各小節の最初の音をまず拾う方法など、6回の再生を有効に使うための工夫を決めておく良いでしょう。また、メロディーの音程だけでなく、リズム（譜割）も重要なので、聴こえたものを音符のパターンとしてすぐに思い浮かべられるよう、いろいろなリズム形の音符表記に習熟しておくことも重要です。